

2019年6月12日

各 位

NCBリサーチ&コンサルティング

2019年度 新入社員意識調査アンケート結果 ～ 給与へのこだわりが強まる ～

西日本フィナンシャルホールディングス（社長 谷川 浩道）の子会社であるNCBリサーチ&コンサルティング（社長 石田 保之）は、毎年新入社員を対象とする公開セミナーおよび企業内研修を実施しています。本年度のセミナーおよび研修に参加いただいた新入社員を対象とした意識調査アンケートの結果がまとまりましたので、ご報告いたします。

【 アンケート結果概要 】

今回のアンケートでは、給料と残業に対する考え方について、過去6年連続で増加していた「給料は少なくても、残業がない方がよい」との回答割合が、初めて前年を下回りました。働き方改革関連法で、残業時間の上限が制限される中、給与へのこだわりが強まったように感じられました。

1. 就職活動は「とても大変だった」が15.7%、「大変だった」が55.3%、「思っていたほど大変ではなかった」が26.7%、「その他」が2.3%という結果でした。
2. 就職先を決める時に重視したことは、「会社の雰囲気・イメージ」が45.8%で最も多く、次いで「仕事にやりがいがある」と「業種・事業内容」の40.2%という結果でした。
3. 「定年まで同じ会社で働きたい」は37.0%で過去最低となる一方、「自分に向かなければ転職したい」は20.2%で引き続き高水準となりました。
4. 働く目的は、「生活の安定」が69.4%で最も多く、次いで「お金が稼げる」の55.3%、「自己成長」の51.1%という結果でした。

詳細は添付の資料をご参照下さい。

【お問い合わせ先】

㈱NCBリサーチ&コンサルティング 調査部 担当：原
〒812-0027 福岡市博多区下川端町2番1号 博多座・西銀ビル13階
電話：092-282-2662

調査概要

1. 調査の目的

- 職業等に関する新入社員の意識状況を調査し、傾向を把握すること

2. 調査期間

- 2019年3月26日～4月17日

3. 調査対象

- 2019年春の新入社員で、当社の新入社員公開セミナーおよび企業内研修の参加者

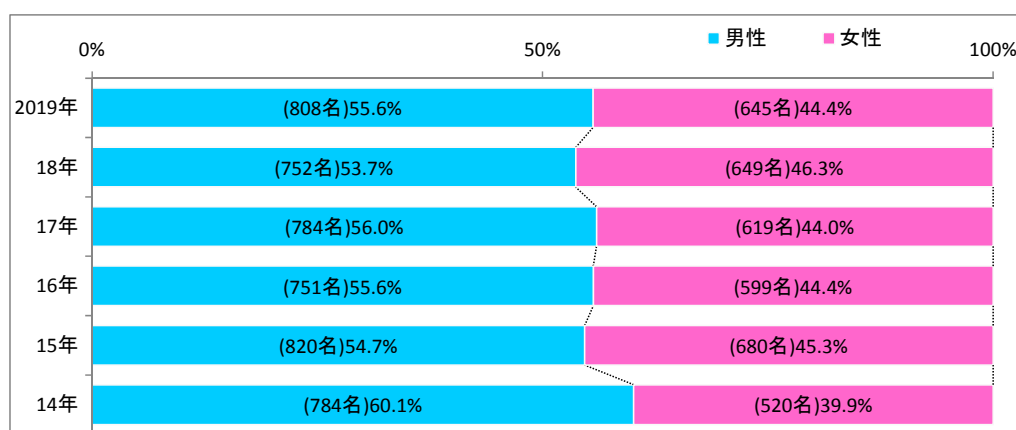
対象：1,467名（328社） 回答：1,454名 回答率：99.1%

開催地

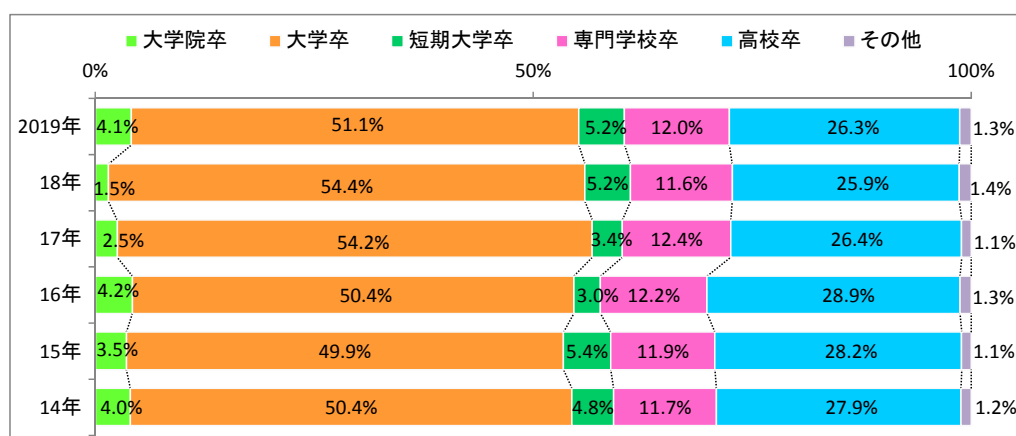
公開セミナー（26コース）：福岡市、北九州市、久留米市、飯塚市、長崎市、熊本市、宮崎市、大分市

企業内研修（9コース）：福岡市、別府市、下関市、福山市

性別



最終学歴



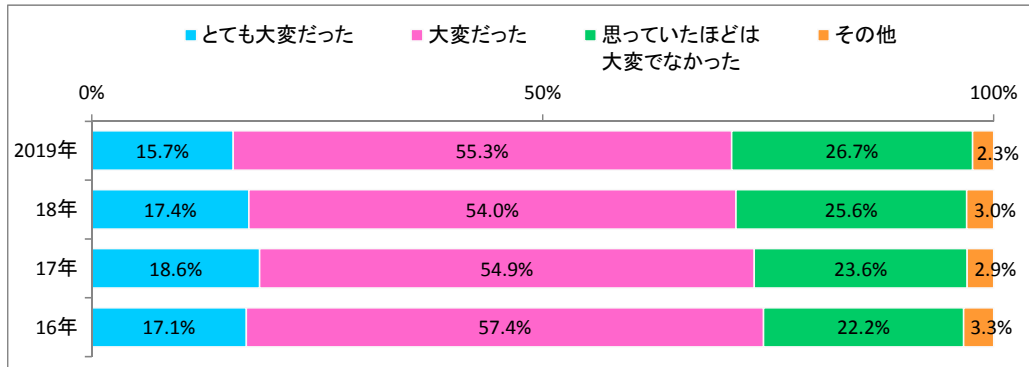
4. 調査方法

- アンケート用紙の配布・回収（新入社員公開セミナー・企業内研修実施時）

【アンケート結果】

1. 就職活動はどうでしたか（1つ選択）

全体では「とても大変だった」が15.7%、「大変だった」が55.3%、「思っていたほどは大変ではなかった」が26.7%、「その他」が2.3%という結果であった。

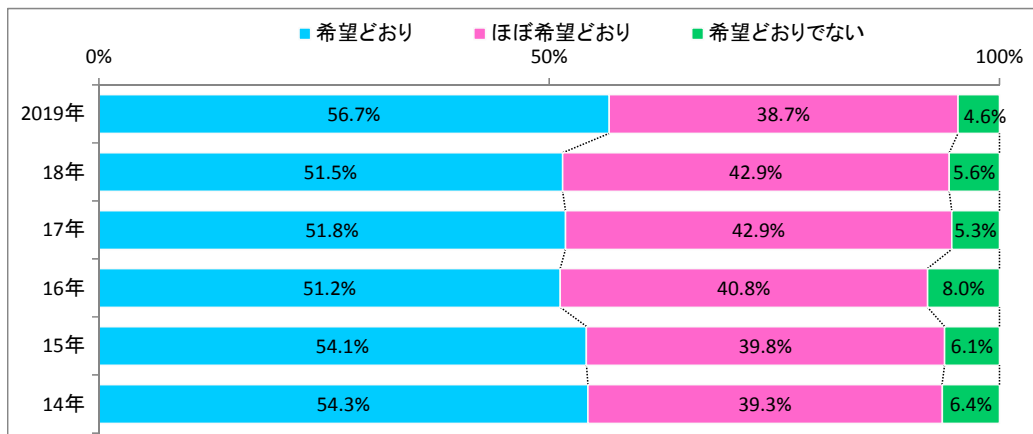


【コメント】

売り手市場を反映して「とても大変だった」は減少したが、「とても大変だった」、「大変だった」の合計は依然として70%を超えている。雇用情勢が好転しても、就職活動の大変さが緩和されるわけではないようである。

2. 希望している会社に就職できましたか（1つ選択）

全体では「希望どおり」が56.7%、「ほぼ希望どおり」が38.7%で、あわせて95.4%という結果であった。昨年との比較では、「希望どおり」は5.2ポイント増加、「希望どおりでない」は1.0ポイント減少した。

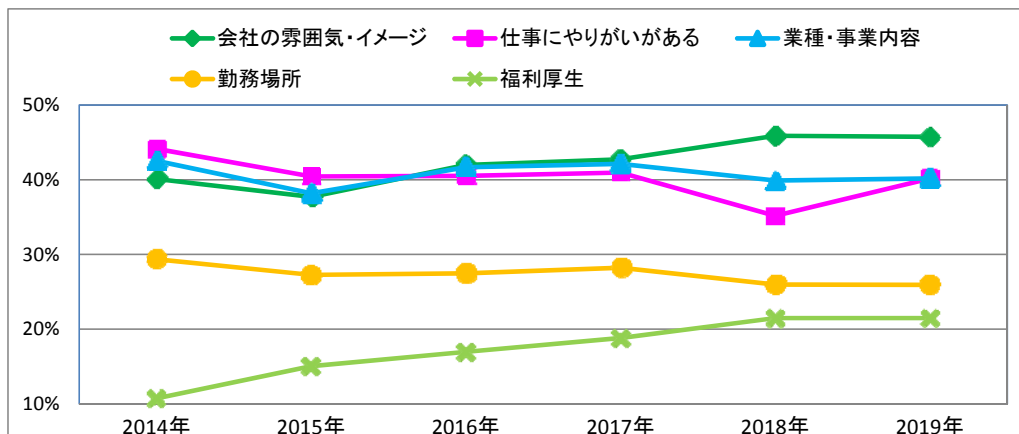


【コメント】

「希望どおり」が過去最高の56.7%、また「希望どおりでない」が過去最も少ない4.6%となっており、就職活動自体は大変と感じたものの、売り手市場でもあり就職先には満足している様子が見られる。

3. 就職先を決める時、重視したものは何ですか（3つまで選択）

全体では「会社の雰囲気・イメージ」が45.8%で最も多く、次いで「仕事にやりがいがある」と「業種・事業内容」の40.2%であった。昨年との比較では、「会社の雰囲気・イメージ」は0.1ポイント減少、「仕事にやりがいがある」は5.0ポイント増加した。

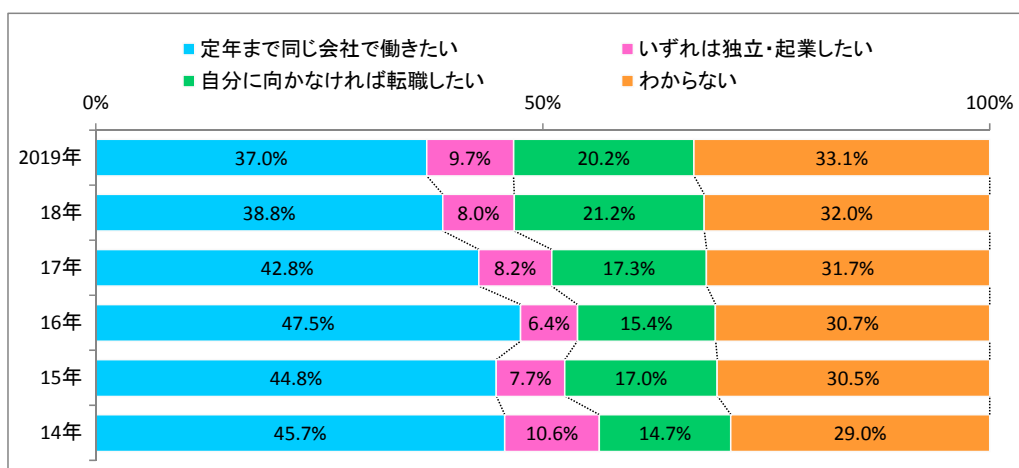


[コメント]

「会社の雰囲気・イメージ」、「業種・事業内容」、「勤務場所」、「福利厚生」がほぼ横ばいとなった中で、「仕事にやりがいがある」の5.0ポイントの増加が目立っている。

4. 就職した会社で定年まで働きたいと思いますか（1つ選択）

全体では「定年まで同じ会社で働きたい」が37.0%で最も多く、次いで「わからない」の33.1%、「自分に向かなければ転職したい」の20.2%、「いずれは独立・起業したい」の9.7%という結果であった。昨年との比較では、「定年まで同じ会社で働きたい」が1.8ポイント減少、「いずれは独立・起業したい」が1.7ポイント増加した。

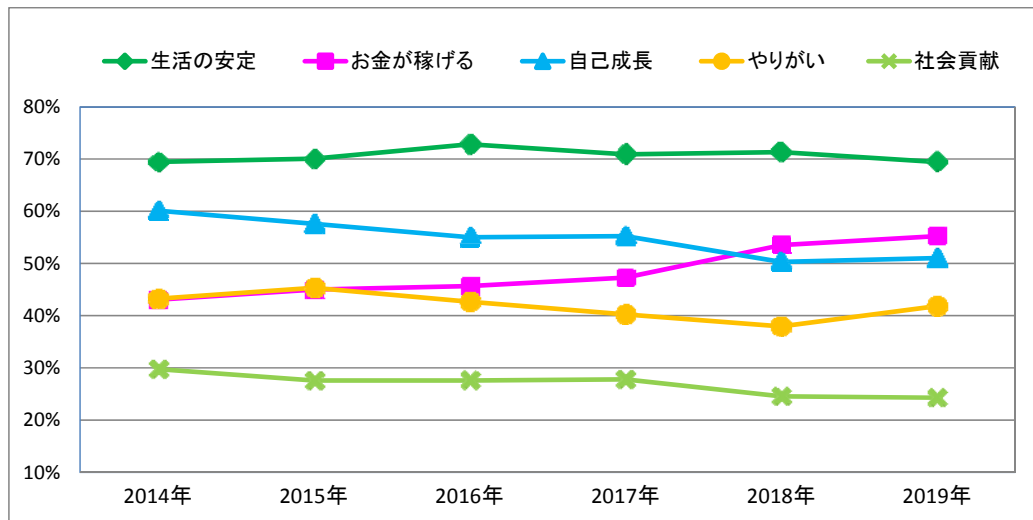


[コメント]

雇用情勢の好転を受け、「定年まで同じ会社で働きたい」が過去最低を更新。一方、「いずれは独立・起業したい」が増加しており、独立志向の強まりもみられる。

5. あなたにとって働く目的は何ですか（3つまで選択）

全体では「生活の安定」が69.4%で最も多く、次いで「お金が稼げる」の55.3%、「自己成長」の51.1%という結果であった。昨年との比較では、「生活の安定」が2.0ポイント減少し、「お金が稼げる」が1.8ポイント増加している。

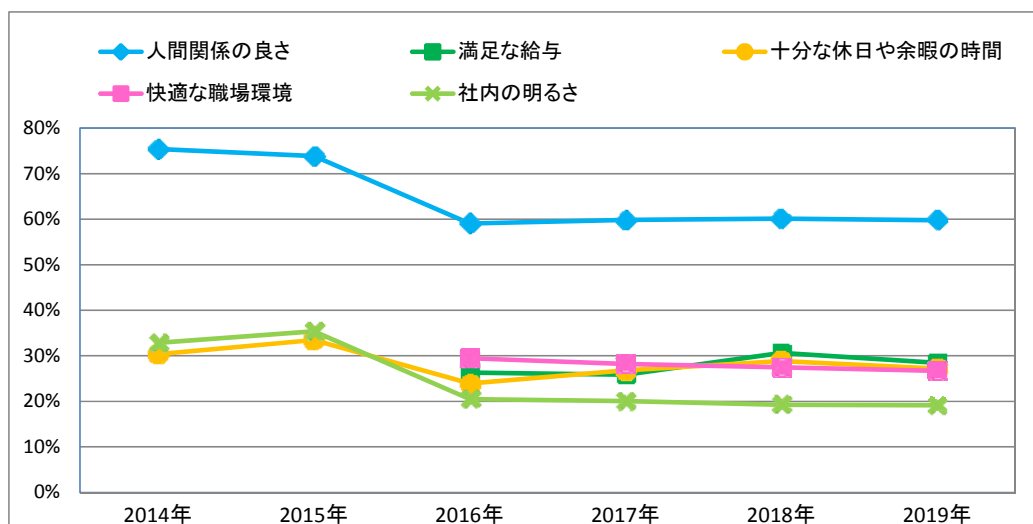


【コメント】

昨年に続き、「お金が稼げる」の増加が目立っており、現実の生活を重視する傾向がうかがわれる。

6. あなたが会社に求めるものは何ですか（2つまで選択）

全体では「人間関係の良さ」が59.8%で最も多く、次いで「満足な給与」の28.4%、「十分な休日や余暇の時間」の27.2%、「快適な職場環境」の26.7%という結果であった。

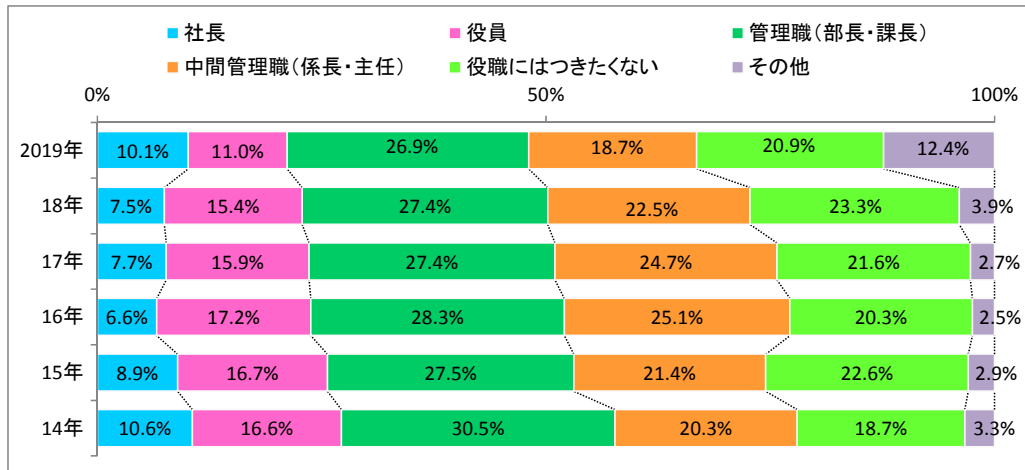


【コメント】

上位5項目が軒並み減少しているなかで、「自分の能力を発揮・向上できる」が3.0ポイント増加し18.1%、「公平な評価」が1.3ポイント増加し10.7%となったことが目を引いた。

7. 将来、どのポジションに就きたいですか（1つ選択）

全体では「管理職（部長・課長）」が 26.9%で最も多く、次いで「役職にはつきたくない」の 20.9%、「中間管理職（係長・主任）」の 18.7%という結果であった。昨年との比較では、「社長」、が増加し、「役員」、「管理職」「中間管理職」、「役職にはつきたくない」が減少した。

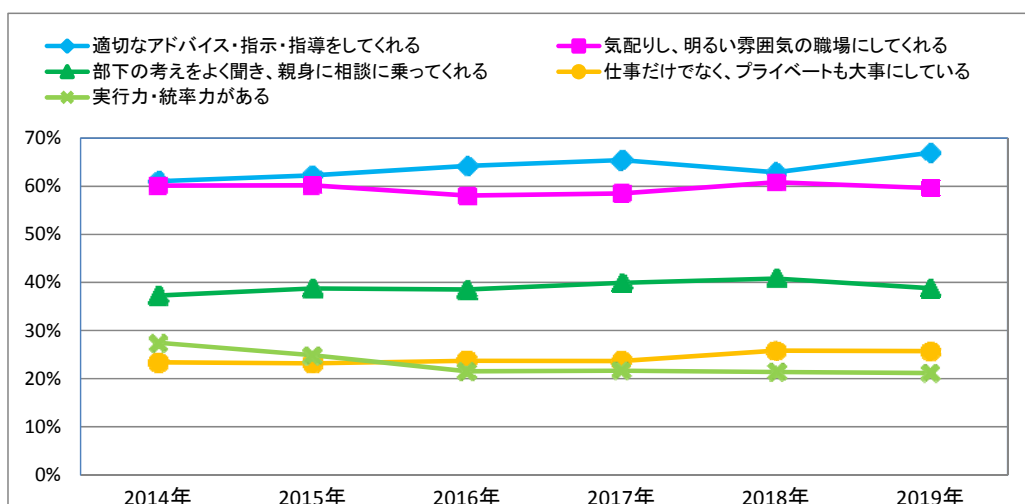


【コメント】

将来のポジションとして管理職以上を希望する割合は、全体では 48.0%と、5年連続で減少しているが、「社長」との回答が 10%を超え、一部では上昇志向が強まっていることがうかがわれる。「その他」の内訳は「まだ、わからない」との回答が多数であった。

8. あなたにとって理想の上司に近いものはどれですか（3つまで選択）

全体では「適切なアドバイス・指示・指導をしてくれる」が 67.0%で最も多く、次いで「気配りし、明るい雰囲気職場にしてくれる」の 59.6%、「部下の考えをよく聞き、親身に相談に乗ってくれる」の 39.4%という結果であった。昨年との比較では、「適切なアドバイス・指示・指導をしてくれる」の 4.1ポイントの増加、「部下の考えをよく聞き、親身に相談に乗ってくれる」の 1.4ポイントの減少が目立っている。

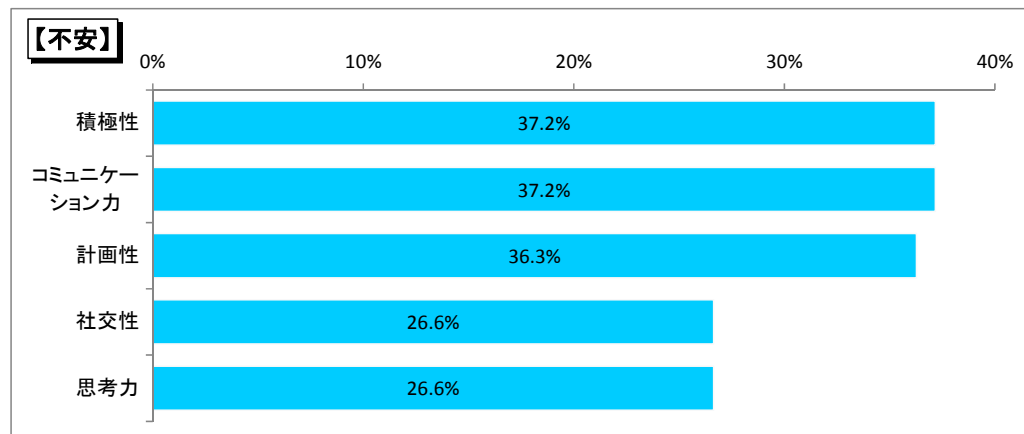
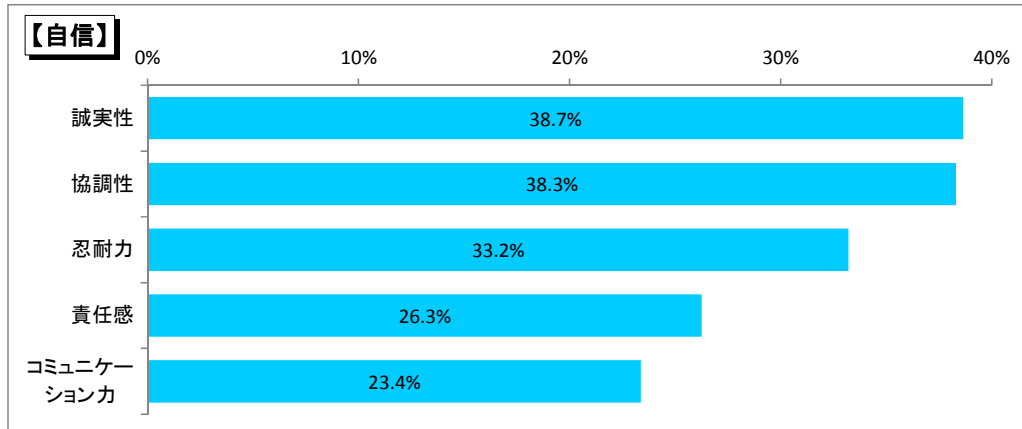


【コメント】

知識や能力不足を自覚しており、きめ細かな指導、気配りのできる上司を求める傾向が続いている。下位ではあるが、「仕事がよくでき、業績を上げている」の増加が目立った。

9. 今、あなたにとって自信があること、また不安なことは何ですか（それぞれ3つまで選択）

全体では、自信があることは「誠実性」が38.7%で最も多く、次いで「協調性」の38.3%、「忍耐力」の33.2%という結果であった。不安なことは「積極性」、「コミュニケーション力」が37.2%で最も多く、次いで「計画性」の36.3%という結果であった。

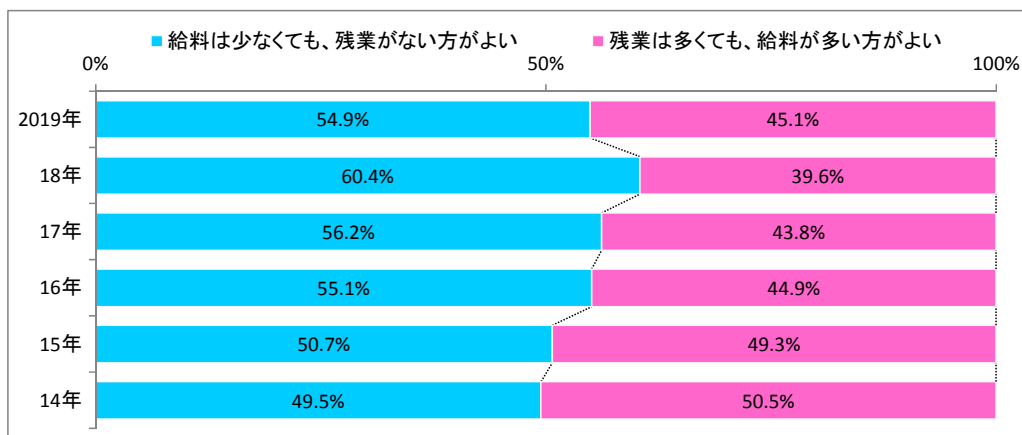


【コメント】

項目ごとに「自信」－「不安」を計算すると、プラス幅が大きいのは「誠実性」の34.5%、「協調性」の28.9%、「忍耐力」の18.7%、一方マイナス幅が大きいのは「計画性」の▲25.6%、「積極性」の▲22.1%、「思考力」の▲15.7%であった。真面目で他人との共同作業は苦にしないが、自ら物事を合理的に考え、進んで取り組むのは苦手なことがうかがわれる。

10. 給料と残業に対するあなたの考え方はどちらですか（1つ選択）

全体では「給料は少なくとも、残業がない方がよい」が54.9%、「残業は多くても、給料が多い方がよい」が45.1%であった。昨年はすべての最終学歴で「給料は少なくとも、残業がない方がよい」との回答のほうが多かったが、今年は高校卒では「残業は多くても、給料が多い方がよい」が56.3%、「給料は少なくとも、残業がない方がよい」が43.7%と逆転した。

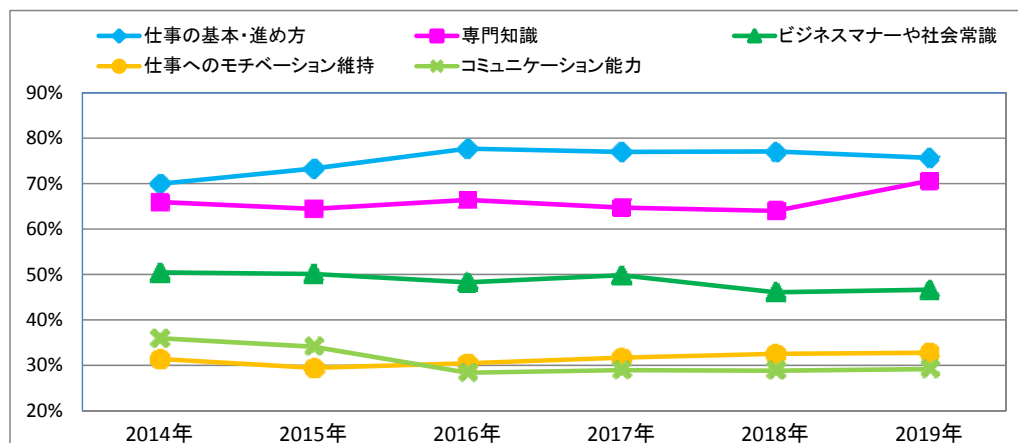


【コメント】

昨年までは「給料は少なくとも、残業がない方がよい」が毎年過去最高を更新していたが、今後トレンドに変化が見られるかもしれない。

11. 入社後、指導・教育してもらいたいことは何ですか（3つまで選択）

全体では「仕事の基本・進め方」が75.7%で最も多く、次いで「専門知識」の70.6%、「ビジネスマナーや社会常識」の46.7%という結果であった。上位3つは8年連続で同じ順位であった。

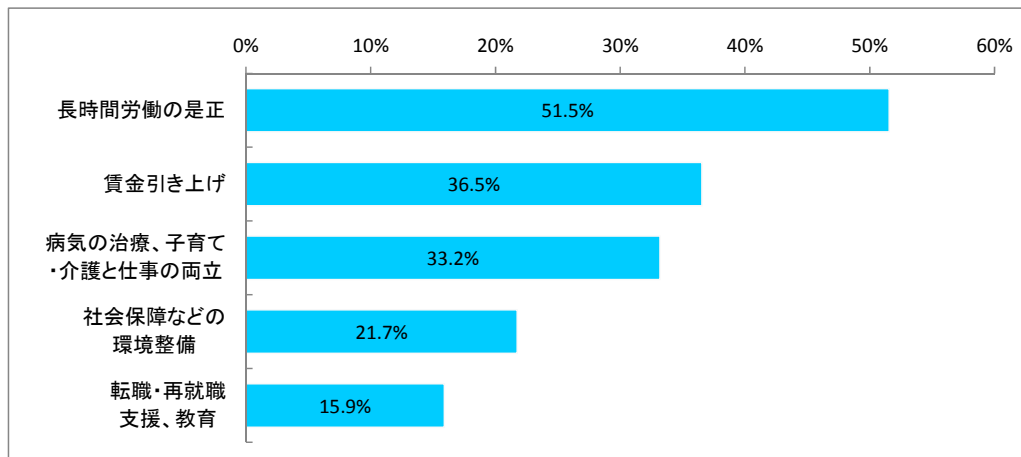


【コメント】

自分が未熟であることを認識しており、「仕事の基本・進め方」、「専門知識」、「ビジネスマナーや社会常識」が上位を占めている。

12. 働き方改革の中で、あなたが重要と思うテーマはどれですか（2つまで選択）

全体では「長時間労働の是正」が51.5%で最も多く、次いで「賃金引き上げ」の36.5%、「病気の治療、子育て・介護と仕事の両立」の33.2%という結果であった。男女とも「長時間労働の是正」との回答が最も多く、次いで男性は「賃金引き上げ」、女性は「病気の治療、子育て・介護と仕事の両立」という結果であった。



【コメント】

昨年と比較すると、「長時間労働の是正」が1.4ポイント減少し、「賃金引き上げ」が3.6ポイント増加し、「病気の治療、子育て・介護と仕事の両立」を抜いて2位に浮上した。また、6位ではあるが「テレワーク、副業・兼業など柔軟な働き方」が1.6ポイント増加し12.0%となった。労働基準法の改正で残業時間の上限が設定されたこともあり、長時間労働に対する懸念がやや弱まった反面、多様な働き方への関心の強まりがうかがわれる。

<最後に>

今回のアンケート結果から、新入社員は真面目で我慢強く他の人と共同で物事に取り組むことには自信を持っていますが、計画的に、自ら考え物事に取り組んでいくことは苦手であることが分かります。苦手意識を反映し、上司に対してはきめ細かな指導や気配りを望んでいます。

給料と残業に対する考え方では、「給料は少なくとも、残業がない方がよい」と答えた人の割合が昨年まで6年連続で増加していましたが、初めて前年を下回りました。働く目的で「お金が稼げる」が増加したことに加え、働き方改革の中で重要と思うテーマで「賃金引き上げ」が増加しており、給料に対するこだわりが強まっているように感じられます。

雇用情勢の好転を反映して、「定年まで同じ会社で働きたい」が過去最低を更新する一方、「自分に向かなければ転職したい」も引き続き、高水準となっています。また、テレワーク、副業・兼業など多様な働き方を求める声も高まっています。将来のポジションで「社長」と答えた意欲的な回答が増加した半面、「まだ、わからない」との回答も多くみられ、売り手市場に乗っかり、将来のビジョンが曖昧なまま就職した人も少なくないかもしれません。人手不足が深刻となっている昨今、せっかく採用した新入社員の定着のためには、新入社員の考え、得手・不得手を理解したうえでの指導に加え、多様な価値観を受け入れる必要もあるのではないのでしょうか。

最後に、本調査結果が、新入社員の育成の一助となれば幸いです。

—ご利用に際して—

- ◇ 本資料は、アンケートに基づき作成しましたが、当社はその正確性を保証するものではありません。
- ◇ 本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一的な見解を示すものではありません。
- ◇ 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願いいたします。
- ◇ 本資料は、著作権法に基づき保護されています。引用する際は、必ず出所：NCB リサーチ&コンサルティングと明記してください。
- ◇ 本資料の全文または一部を転載・複製する際は当社の許諾が必要です。